

編集後記

『英學史論叢』第 8 号（通巻 28 号）をお届けする。支部名を「中国・四国支部」と改めて最初の紀要となる。その記念すべき号の発刊が大幅に遅れてしまったことをまずお詫び申し上げたい。

本号では、昨年度の第 50 回記念例会における五十嵐二郎先生の特別講演、ならびに歴代支部長の先生方（定宗一宏先生、寺田芳徳先生、松村幹男先生）による記念シンポジウムでのご提言を文字化し、掲載した。先生方にはテープから起こした原稿への加筆訂正をお願いし、丹念に目を通していただいた。この場を借りて厚くお礼申し上げます。妹尾啓司先生のご提案については、先生のご体調の関係から今号への掲載を見送ることとなったが、別の機会におまとめくださるとのお言葉を頂戴した。楽しみである。なお、テープ起こしに際しては、会員の鉄森令子氏、瀬戸麻由佳氏にご協力いただいた。心より感謝申し上げます次第である。

「赤祖父茂徳文庫」所蔵資料の復刻は今号で 3 回目となる。引き続き小篠敏明先生に資料の選定をお願いし、『東洋學藝雑誌』第 153 号（明治 27 年 6 月）より、神田乃武「英語學ノ研究」を掲載した。英語教員養成や指導法の問題など、現代の問題を考えるヒントに溢れている。

原稿を電子データで提出してくださる方が増え、編集のあり方も少しずつ変化している。今号のテキストは、付録の復刻部分を除きすべてデジタル化されており、1 ページから 70 ページまでは書式を統一した単一ファイルからなる。レイアウトの関係で一部フォントや文字サイズの異なる箇所もあるが、全体としての統一感が増し、読みやすさの向上に貢献しておればと願っている。本紀要が「デジタル・アーカイブ」として後世に伝えやすい形となる日も、そう遠くはないのではないかと思う。

竹中龍範新支部長のもと、新しい体制がスタートした。日本の、そして中国・四国地方の英学史研究を幅広い視点から推進する母体として、わが支部と本研究紀要のさらなる発展を期したい。引き続き「活性化」を志向しつつ。 (T.U.)

英學史論叢 第 8 号（通巻 28 号）（平成 17 年 7 月 31 日発行）

編集・発行者：日本英学史学会中国・四国支部（代表：竹中龍範）

発行所：県立広島大学 馬本研究室内

日本英学史学会中国・四国支部事務局

〒727-0023 広島県庄原市七塚町 562 番地

電話・ファックス：(0824)74-1725（直通）

e-mail: umamoto@pu-hiroshima.ac.jp